

化学工学会学生発表会要旨原稿の書き方について

(東北大・工)○青葉太郎・広瀬花子・(学)東北一郎・(正)宮城学*

1. はじめに

化学工学学生発表会も、今年で第 11 回目となります。学生および若年研究者に対し発表と討論の場を与え、研究者(技術者)として堅実に成長する機会を提供することを目的としております。大学院の重点化に伴い研究の主体は大学院と見られる傾向もありますが、その土台作りはむしろ若いときにあるとの立場です。したがって、肩肘の張らない謙虚な探究心に裏打ちされた発表会にしたいと考えています。

2. 用紙

講演要旨原稿は A4 版縦置きで作成して下さい。カラーが使われても印刷物は白黒となります。原稿枚数は図表を含めて講演 1 件に対し 1 枚です。

原稿 1 ページは、24 字×49 行×2 段=2352 字を基準とします。マージンは上 23 mm, 下 23 mm, 左 19mm, 右 19 mm として下さい。また、1 段目と 2 段目の間は 6 mm 空けて下さい。

3. 表題の書き方

原稿紙面の左上部は、左マージンから 31 mm(9 文字分), 上マージンから 21 mm(4 行分)を空白として下さい。

講演題目は 1 行目の左マージンから 9 文字空けて、本文より大きく書いて下さい。

研究者氏名を「(所属略称)(会員資格)氏名」の形式で、3 行目から右側に寄せて書いて下さい。長くなって左側に 8 文字分の余白を確保できない場合には、途中で改行して次行(4 行目)にわたってお書きください。

会員資格は正会員の場合は(正)、学生会員の場合は(学)と記し、化学工学会または日本化学会の会員でない場合には何も書かないで下さい。ただし、会員以外でも会員の推薦を受けている場合には、代表者の会員資格欄に(推)とご記入ください。連名の場合には、発表者(登壇者)の会員資格の前に○印をつけて下さい。

また、後日、講演内容についての質問を受けていただける方の右上に * 印をつけて下さい。

4. 本文の書き方

本文は 5 行目左段から書いて下さい。

原稿の右下に脚注として * 印をつけ、連絡のための E-mail アドレスなどを記載して下さい。

字数、行数の多少の変動は構いませんが、前述のマージンは必ずお守り下さい。図表のある場合には適宜、

本文の文字を減らして下さい。図表や写真は原稿中に直接書き込むか貼り付けてください。図表の文字や説明が十分読み取れる大きさになるようにご留意ください。

5. 要旨原稿の提出方法

要旨原稿は PDF ファイルに変換したものを、第 11 回化学工学会学生発表会(郡山大会)の WEB サイト「講演要旨 現行の提出」<http://www2.scej.org/meeting/stulle/submit/abstract.html> にてアップロードして下さい。締切は 2 月 6 日(金) 17:00 です。

締切りまでの間は、何回でも「提出」を行うことができ、PDF ファイルの差し替えが可能です。締切り後は、提出や訂正は一切できません。

PDF ファイルは 1229KB(キロバイト)以下のサイズでないと受けられません。PDF ファイルのセキュリティ設定は「なし」にしてください。PDF ファイル作成時には「フォントの埋め込み」を行って下さい。

PDF ファイルのアップロードには受理番号と受理通知に記載されたパスワードが必要です。

6. その他のご注意

予約参加登録をお早めに、お忘れなくお願い致します。

引用文献

- [1]木下是雄,「理科系の作文技術」,中公新書(1981)
- [2]高松武一郎,「化学工学への招待」,朝倉書店(1995)
- [3]八田四郎次,前田四郎,「化学工学概論」,共立出版(1982)
- [4]化学工学会編,「化学工学便覧(改訂 6 版)」,丸善(1999)
- [5]橋本健治,「ケミカルエンジニアリング夢を実現する工学」,培風館(1995)

* Tel&Fax 022-712-0887

E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp